

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：戸塚せせらぎ保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：佐藤美佳	定員（利用人数）： 80 名
所在地：〒244-0002 横浜市戸塚区矢部町3001-2 第7山洋ビル1階	
TEL：045-443-6976	ホームページ： http://www.cosmo.bz/ed/totsuka-seseragi/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2016年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人大和まほろば福祉会	
職員数	常勤職員：18名 非常勤職員：4名
専門職員	（専門職の名称）： 名
	保育士：17 名 栄養士：1 名
	子育て支援員：1 名
施設・設備 の概要	（居室数） 1階保育室
	（設備等） 2階保育室

③理念・基本方針

<理念>

自分の力で自分の人生を切り拓き人として自立し世のため人のために尽くす人を育てる。

<基本方針>

- 1.お客様第一主義
- 2.環境整備の徹底
- 3.クレーム最優先

④施設・事業所の特徴的な取組

<戸塚せせらぎ保育園の特徴的な取り組み>

1. 体操指導
2. 読み書きの学習指導
3. 音楽（発声、ピアノ力）
4. 月1回の食育

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年7月29日（契約日） ～ 2021年1月29日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2019年度）

⑥総評

【戸塚せせらぎ保育園の概要】

●戸塚せせらぎ保育園は、戸塚駅から徒歩5分程度であり、近くに由緒ある寺院や小学校があり、駅近で買い物にも便利な上、保護者にとっては貴重な保育園の位置づけとなっています。園舎前は国道1号が縦断していますが、安全な生活、交通ルール・社会的ルールを日常的に保育に取り入れ、子どもたちは安全を身に付け、落ち着いて園生活を送っています。

●戸塚せせらぎ保育園の保育方針として、保育教育理念の根幹に「人間力をつける教育」を据え、理念に「自分の力で人生を切り拓き人として自立し世のため人のために尽くす人を育てる」と謳っています。保育目標は、①「こどもの可能性を引き伸ばし育てる」、②「人間としての基本を身につける」、③「転んだら自分の力で起きあがる」を掲げています。そして、目指す子ども像に、「保育園がすき」、「名前を呼ばれたら相手の目を見て“はい”と返事をします」、「本読み、音楽大好き」、「履き物をそろえる、椅子を入れる」、「体育が得意」、「ありがとう、ごめんなさいを言える子」としています。園の特徴的な取り組みとして、体操指導・読み書きの学習指導・音楽（発声・ピアノ）・食育等があり、苦手な子どもも必ず得意とできることを目指して指導しています。職員は、「本物の先生」になる事を目指して職務に当たり、子どもたちが道具等を使えること、結果を出せること、たくさんを知ること、を念頭に置き、最も大事なことで、子どもが少しでもできたら皆の前で褒め・励まし、職員も共に喜び合い、自信につながっています。「得意」を積み重ねた戸塚せせらぎ保育園の子どもたちの目は輝いており、基本的習慣をきちんと身に付け、場面ごとにメリハリとわかまえを備え、はつらつと強く生きる人間力が培われています。

◇特に評価の高い点

1. 【強く生きる力・人間力を育てる保育の実施】

●戸塚せせらぎ保育園は、保育教育理念の根幹に「人間力をつける教育」に置いて保育を行っています。具体的な保育内容は、0歳児は、安心できる温かな環境、運動遊び、音楽遊びなどを通して心地よい刺激、食事・睡眠・排泄など生活習慣も少しずつ身につけています。1歳児は、生活習慣を大切に、一人でじっくり遊び込める環境も大切にしながら、少しずつ集団で活動することで友だちとの関わりから学んでいます。職員は、毎日の楽しい活動を通して子どもの心も体も成長に導いています。2歳児は、生活習慣を大切に、集団生活の中でルールを守りながら楽しく様々な活動を通して、子ども自身の力で「できる」ことを増やしています。3歳児は、「読み書き」、「計算」、「体操」、「かけっこ」、「歌」を本格的に始め、遊び感覚で楽しみながら、「心の力」・「学ぶ力」・「体の力」を育み、毎日の関わりの中で道徳的なことも大切に伝えています。4歳児は、少しずつレベルアップをしながら達成感を味わっています。職員は、子どもが意欲的に進めて行けるよう援助し、大切に見守り、褒めて認め、子どもたちの可能性を引き出しています。5歳児は、リーダーとして任されることや、頼られる機会を踏まえ、行事の手伝い、年下のお世話、朝の会を進行する等、子どもができることは挑戦する機会を提供し、物事を自分で考え判断し、目標を立てて頑張る経験等、自信を付けて小学校へ進めるよう支援しています。このように、子どもたちは強く生きる力・人間力を身につけています。

2. 【生きる力を育てる食育の推進】

●戸塚せせらぎ保育園の食育方針は、「適切な習慣により、乳児・幼児の健全を目指す」、「命の恵みに感謝する心を育てる」です。食育目標は、「食べる意欲を大切にし、食体験を生かして楽しく・美味しく・良く噛んで食べる」、「食べ物を大切にする」を掲げています。食育は、年間計画に沿って月1回、食育活動を実施し、梅ジュース作り、とうもろこしの皮むき、月見団子作り、ハロウィンかぼちゃのクッキー型抜き、サツマイモの茶巾絞り、餅つき、プリの解体ショー等、季節に応じた食育体験を行っています。保護者へは月1回、給食だよりを発行し、歳時記や食材の効用、副菜レシピ、食育豆知識等を紹介し、家庭での食育につなげています。11月号の給食だよりには、「いい歯の日」(11/8)に歯を大切にする、噛むことの役割、唾液の役割、丁寧に歯を磨く習慣をつけましょうとコメントをして園と家庭との共育を促しています。戸塚せせらぎ保育園では、「離乳食の記録」と称した離乳食を家庭と連携して行うための連絡帳を設け、摂食時期ごとに、柔らかさの目安、食事回数、授乳回数、食べ方の様子、食べられる食材例、初めて食べた食材の日付を記録し、双方で確認しながら離乳食を進めています。食育を根幹に、美味しい食事の提供に努め、子どもたちは職員の熱意・徹底した体操指導を受け、体力・気力を養っています。

◇改善を求められる点

1. 【保護者との情報共有をさらに密接に図り、保育に対する安心感・信頼を高める】

●戸塚せせらぎ保育園の子どもたちは、礼儀正しく高度な気力・体力を備えています。その保育内容は保護者に高い評価を持って受け入れられ、広く支持されています。しかし、今回、保育園と保護者との情報共有に関する内容に改善の一考が見受けられます。例えば、理念、基本方針の明文化については、保護者に対する周知の方法、継続的な取り組みについてさらなる工夫が望まれます。利用者満足の向上を目的とする取り組みに関しては、保護者の理解不足が見受けられ、園からの情報伝達において工夫が望まれます。保護者からの相談や意見に対して、組織的にICT化の向上等、さらに密接な情報交換が図れる工夫の検討が望まれます。また、乳児保育では、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、現在の連絡帳等の他に、ビデオ記録、メール機能の拡張、ICT化等、情報発信の一考を期待いたします。保育士の仕事は、多岐に渡り、子どもたちの見守りや指導は勿論、事前準備、施設の管理、保育日誌・指導計画・保護者へのお知らせの作成等、日々様々な業務を遂行しなくてはなりません。保護者との密接な情報共有をするために、現在の連絡帳、電話、園内掲示、緊急用安心メール等に追加・工夫を行い、保護者との情報共有の向上に努め、保護者の安心感・信頼を高めていかれることを期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：戸塚せせらぎ保育園

<評価に取り組んだ感想>

今年度もお世話になりました。

評価を受ける度に、具体的な課題が明確化していると感じます。今回も学びが多く、すぐに改善へ向けて取り掛かれた事もありました。

ありがとうございました。

<評価後取り組んだ事として>

1. マニュアルの見直し
2. 研修内容の見直し
3. 次年度へ向けて、残り3ヶ月の目標達成シートの作成

※1、2は主に園長と主任で行い、3は職員全員で取り組んでいます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり